

第3次備前市総合計画兼第2期備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
に対する意見募集の公表について

第3次備前市総合計画兼第2期備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と市の考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

- ・意見募集期間 令和3年7月1日（木）～7月30日（金）
- ・意見募集結果 42件（5名）

	意見等の要旨	市の考え方
1	<p>P.13～14 （2）市の現状と課題 ○歳入・歳出～</p> <p>市の財務状況は、非常に厳しい状態で、今の子供たちに債務を付け替えることのないよう財務改善（スリム化とめりはり）に努めていただきたい。</p> <p>市民を含め関係者が危機感を。</p>	<p>財務改善については、費用対効果の検証による事務事業の見直しなど健全な財政運営に向けた取組を進めると同時に、市民の多様なニーズに的確に対応できる施策に対し重点的に予算の配分を行うことで、メリハリのある行財政運営に努めてまいります。</p>
2	<p>P.24 （2）計画の体系</p> <p>P.23 の「まちづくりの方向性」に照らして、市民にアピールする体系としては、何に力点を置くかの明確化、市民が参画しやすいような政策と施策の順位とする。一例として、</p> <p>政策1. 教育・文化</p> <p> 施策1-1 就学前の教育、保育等の充実</p> <p> 1-2 学校教育の充実</p> <p> 1-3 生涯学習の充実</p> <p> 1-4 歴史文化の活用と伝統文化の継承</p> <p> 1-5 スポーツ・レクリエーション活動の推進</p> <p>政策3 健康・福祉</p> <p> 施策3-1 子育て支援の充実</p> <p> 3-2 地域に密着した医療サービスの提供</p> <p> 3-3 生活困窮者等の自立支援</p> <p> 3-4 障がいのある人への福祉に充実</p> <p> 3-5 生涯を通じた健康づくりの推進</p> <p> 3-6 高齢者への福祉の充実</p>	<p>本計画の体系については、第2次総合計画の体系をベースに検討したものです。いただいたご意見は、次期計画策定時のご参考とさせていただきます。</p>
3	<p>P.24 （2）計画の体系</p> <p>買物難民対策は、いずれの政策、施策で対応するのか。住みやすいまちの要件として常に取りあげられる問題で、日常の食料、日用雑貨の購入である。</p>	<p>自家用車等を用い、自ら買物に行くことが困難な方は主に高齢者であることから、地域包括</p>

	意見等の要旨	市の考え方
		ケアの一環ととらえ「3-5 高齢者への福祉の充実」で対応してまいります。
4	<p>P.25 4.総合計画の推進に向けて</p> <p>本計画のPDCA</p> <p>行政と市民が一体となってPDCAを回し、その成果を得てゆく様に願う。進捗状況の市民へのフィードバックを必ず願う。</p>	取組の評価・検証にあたっては、PDCAサイクルにより行政評価（外部評価・内部評価）を行い、その結果を公表します。
5	<p>P.33 施策 1-1【生涯学習の充実】目標達成のために解決すべき課題 魅力ある図書館づくり</p> <p>図書館は、市民がまちづくりに取り組むための必須の「知の拠点施設」と考える。そのため、施設は持論それを運用する体制が何よりも重要と考える。すなわち、市民が解決したい課題に対応できる、資料の収集や活用のアドバイスが可能な体制が必要と思う。また市民のサポート体制（ボランティア等）も重要と思う。</p>	資料の収集は、市民のリクエストなども参考にしながら行っております。課題解決のため、テーマを設けた展示や、レファレンスサービスも行っております。今後は、運営体制を充実させるため、人員確保に努めるとともに、市民のサポート体制についても検討してまいります。
6	<p>P.33 施策 1-1【生涯学習の充実】目標達成のための取組 地域の教育力向上による「学び」の場の充実</p> <p>「地域学校協働本部」にも協力しているが、対外的なPRをしていくことで、地域も保護者も生徒にもプラスの効果得られると思う。</p> <p>日生中学で行われている「夜間学び直し事業」は、夜間中学の取組に通じるものだと思うが、国際化・不登校ひきこもり対策という面も広く広報もしながら進めていくとより地域の教育力向上になると思う。</p> <p>地域の大人の教育への取組の姿が、子どもの自己肯定感を高め、学習意欲も高めていくではと思う。</p> <p>岡山の自主夜間中学の活動をされている城之内さんから各県に1つの夜間中学を備前に作る構想を市長教育長に向けて話していただいた。世界遺産を目指す庶民の学校「閑谷学校」を持つ備前市。「教育の備前」を実現する一つの実績として「公立夜間中学設立」を目標に掲げてはと思う。</p> <p>日本各地の実績から考えると、不登校ひきこもり対策の他、生涯教育の二本立てで考えていく必要もあるようだ。片上高校との連携も考えた取組を国の予算が備前にももらえるように一番に手を上げて取り組んで欲しいと思う。</p> <p>備前市以外の市町村県外からの生徒が通うようになると生徒の住所地の予算も振り分けられるようです。学生が増えることにより、地域の賑わいも増していくと思う。</p>	<p>夜間学び直し事業は、現在、県の補助事業として実施しておりますが、日本人パートにつきましては、昨年度は市内外合わせて3名の受講がありました。</p> <p>補助事業終了後の事業のあり方については、片上高等学校との連携強化も含め、予算、講師手配、実施体制等を考慮しながら検討してまいります。</p> <p>また、現時点で市周辺のニーズがないことから「公立夜間中学校」を設立する予定はございません。</p>

	意見等の要旨	市の考え方
7	<p>P.35 施策 1-2【就学前の教育、保育等の充実】目標達成のために解決すべき課題 支援が必要な園児への対応</p> <p>支援が必要な子どもが増えている。潜在的なものが浮上しているのか、それとも絶対数が増加しているのか。P.65 施策 3-2 子育て支援の充実で少なくともすることができないのか検討願いたい。</p>	<p>支援が必要な子どもの絶対数が増えている状況となっています。保育教諭の配置とともに関係機関とも連携して要支援児童への相談・支援等を行うこととしています。</p>
8	<p>P.35 施策 1-2【就学前の教育、保育等の充実】目標達成のために解決すべき課題 保護者等からの相談対応</p> <p>なぜ長時間の対応を求められるのか、保護者サイドの問題はないのか、その点、検討しなくていいのか。</p>	<p>児童のみでなく支援を必要とする家庭もあるため、関係機関とも連携して相談・支援等を行うこととしています。</p>
9	<p>P.35 施策 1-2【就学前の教育、保育等の充実】目標達成のための取組 園職員の人材確保・育成、メンタルケアの強化</p> <p>保育士保育教諭の職務は外から見る限り多様で小さい子どもの命を預かり、早番遅番と非常に過酷な勤務と思う。幼少期の教育が後の人生を大きく左右すると言われており、そのため備前市では、こども園、保育園を教育委員会の所管としたと承知している。保育士、保育教諭の勤務体制と処遇策、一歩突っ込んだ検討対応が必要ではと思う。</p> <p>「教育のまち備前」の入り口で転ばないよう「子守り感覚」ではなく「子育て教育感覚」でこども園、保育園、保育士、保育教諭を見て、是非早急な対応を願う。</p>	<p>教育・保育の充実を図るため、保育士、保育教諭の人材確保や研修等による人材育成を進めるとともに、処遇改善や業務負担の軽減に向けても取り組むこととしています。</p>
10	<p>P.37 施策 1-3【学校教育の充実】目標達成のために解決すべき課題 図書館司書全校配置による教育環境の充実と周知</p> <p>全校に配置されていますが、十分に制度が周知されておらず、とのこと。周知すべき対象はどなたで、どなたに周知されていないのか。全校に図書館司書が配置されたことは画期的な施策と承知しているが。</p>	<p>配置されている事による活用イメージを、保護者や地域の方々により広く知っていただきたいと考えています。そのため、これまで以上に活動について情報発信を行いたいと考えています。</p>
11	<p>P.37 施策 1-3【学校教育の充実】目標達成のための取組</p> <p>施策の方向性に記述されている目指す目標の中で、「郷土を愛する心」をうたわれていますが、「目標達成のための取組」の中では、児童や学生が郷土愛の醸成を図ることが可能な取組が見えてこない。また、地元地域との協働教育については、どう計画していくのか、ご教示ください。</p>	<p>幼いころから郷土に接することが郷土愛の醸成には大切だと考え、「地域に関心のある生徒の割合」について、政策 KPI にも設定しており、授業の中で地域とのかかわりを持つ取組など継続して実施したいと考えています。</p> <p>また、学校教育をより魅力あるものとすることで、さらに、子どもたちが、備前市で学んだ</p>

	意見等の要旨	市の考え方
		<p>ことに誇りと愛着を持てるよう取り組んでまいります。</p> <p>地域との協働については、学校と地域をつなぐコミュニティづくりの取組などにより進めてまいります。</p>
12	<p>P.37 施策 1-3【学校教育の充実】目標達成のための取組 図書館司書配置の効果と活動の情報発信</p> <p>行ってみたい図書館、わくわくする図書館にさせていただくことが生徒の読書意欲を高めると思う。司書さんがフル活用できる体制整備をもう一步進めていただきたい。</p> <p>子どもの教育は国づくりである。県や国に強かに働きかけていただくことも必要では。</p> <p>今年の6月だったと記憶しているが、小学校1年生のお子さんのご家族が、暑い日に「真赤な顔して学校から帰ってきてカバンをドサット置くんです。中を見たら学校の図書を借りてきているんです」と殊の外、喜んでおられた。全校司書の配置の効果かと感じたことがある。</p>	<p>学校においては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善が進んでいます。授業改善を進める中では、例えば、必要な情報を集め学習を深める場面において、学校図書館及び司書が果たす役割は、とても大きいものと考えています。授業者と学校図書館司書の連携を一層進めたいと思います。</p>
13	<p>P.37 施策 1-3【学校教育の充実】目標達成のための取組 片上高等学校のキャリア形成支援機能の情報発信</p> <p>「片上高校魅力化」の取組が良い方向に働いているものと思う。これに「夜間中学」の取組や「緑陽高校」との連携も加えるとより充実したものとなると思う。</p> <p>県の管轄なのかもしれないが、「緑陽高校」を盛り立てることをしていかないと、ますます若者減少につながるのではないかと心配している。高校生の地域学の取組が他の地域では注目もされているが、「緑陽高校」の発信が少なく、生存競争に敗れるのではないかと心配。「地域にある緑陽高校を地域と共に成長していく高校に発展させる」というのをこの項目に加えて欲しい。</p>	<p>片上高等学校では、教職員研修や学校運営において、現在も備前緑陽高等学校と連携して行っているものがあります。今後も外部との連携を行いながら、魅力化を進めたいと思います。</p> <p>なお、備前緑陽高等学校については、県立ではありますが、設置されている地域として、積極的に協力・連携してまいりたいと考えています。</p>
14	<p>P.41 施策 1-4【歴史・文化の活用と伝統文化の継承】</p> <p>私は備前市観光ボランティアをさせていただいている。そのお陰で地元備前市の良さを少しですが知る事が出来たように思う。なんと何も無い、と思っていた備前市にはたくさんのお宝が眠っている。そのために先ず世界遺産を目指す閑谷学校の整備。お客様がいつもきれいに整備された庭、泮池、椿山等を見てここはいつも来てきれいに整備されていてゴミがなく気持ちがいい、本当に落ち着くと言われていた。一方紅葉亭の屋根のブルーシートこれは何かと風化させないで方法を早急に考えていただきたいと思っている。</p>	<p>旧閑谷学校につきましては、岡山県が管理しており、紅葉亭の屋根につきましては、令和3年度中に改修予定とっております。</p>

	意見等の要旨	市の考え方
15	<p>P.41 施策 1-4【歴史・文化の活用と継承】目標達成のための取組</p> <p>歴史文化保存・継承のうち、無形(例：獅子舞演舞、楽曲)の文化継承についての計画をご教示ください。</p>	<p>備前市文化財保存活用地域計画に基づき、民俗文化の基礎調査や伝承者の育成など計画的に行ってまいります。</p>
16	<p>P.45 施策 1-5【スポーツ・レクリエーション活動の推進】</p> <p>目的達成のための取組</p> <p>「公共施設個別計画」には目を通していませんが、施設利用者のひとりとして一言、財政難とはいえ備前市総合運動公園内のスポーツジム施設の老朽化と台風等の災害によるダメージはかなり酷いものと感じている。最近是利用していないので、環境改善されていると思うが、天井の雨漏り、エアコンの故障など委託管理で受ける業者さんも、手の施しようがない状況。最低限の施設環境はキープしていただければと思う。</p>	<p>現在、個別計画等に基づき計画的に環境改善に努めており、直近では、令和2年度に温水プール防水工事等を行ってまいります。今後も、引き続き順次環境整備に取り組んでまいります。</p>
17	<p>P.49 政策2【地域で支え合う持続可能なまち（交流・コミュニティ）】</p> <p>政策の現状と課題</p> <p>コミュニティの希薄化を強く感じる。個々の日常がコミュニティなしに事足りると思っている人が増加しているのだと思う。住み続けたいまちは心暖かい人々の多く住む地域が必要と思う。行政との関係なくては、住み続けられないことで、行政と住民の意見交換会などを通じて、コミュニティの必要性の意識を高められないものか。香登地区は久しくその様な会を開催していない。ザックバラんな意見交換を行うことでコミュニティの醸成が図れないかと思う。行政の幹部の方には出席いただく必要はなく担当の方でと思う。</p>	<p>行政と住民の意見交換会については、常に開催できるよう自治会連絡協議会を通じ、市民へ周知しているところで、市内各地区での要請に応じ対応しています。</p>
18	<p>P.51 施策 2-1【コミュニティの育成と地域活動の支援】</p> <p>政策2全般について、計画内容が薄いように思う。地域課題の掘り起こしや解決の手法や事例、そして議論の仕方について、各種コーディネーターや学識者の派遣も含め、更に地域外から情報を受け入れてもいいのではないか。</p> <p>この2-1については「関連する個別分野計画」がないのは、なぜか。</p>	<p>まちづくり会議運営サポート事業として、まちづくりの専門家に入ってもらい、地域課題解決のためのアドバイスや事例紹介などそれぞれの地域に応じたサポートを行っております。計画としてはその事業の仕様の中で設定しております。</p>
19	<p>P.51 施策 2-1【コミュニティの育成と地域活動の支援】</p> <p>目的達成のための取組 地域おこし協力隊の活動の情報発信の強化</p> <p>地域おこし協力隊への理解が薄い中、情報発信に期待するだけではないと思う。私も都会からUターンした身なので、協力隊の方の苦労がわかる所がある。地域おこし協力隊への理解を進めるためにも地域との交流会やOBと情報交換する場を持つなどの取組も行ってください。</p> <p>そうした取組をしていった方が、市民主体のまちづくり、地域コミュニティ活動推進もつながると思う。和気で行われているような移住者交流会なども備前で行うといいと思う。</p>	<p>地域おこし協力隊については、担当課の職員がサポートを行っており、毎月の面談・相談会・交流会等のサポートを行っております。地域との交流は、協力隊自身に任せている部分もありますので、今後は、地域との交流の場を増やしていきたいと思っております。</p>

	意見等の要旨	市の考え方
20	<p>P.55 施策 2-3【国際理解と多文化共生の推進】</p> <p>目標達成のための取組 外国人市民と日本市民との交流支援</p> <p>夜間中学を発展させることでできる内容だと思う。夜間学び直し事業も現在の形では生徒も増えないし、せっかくの取組がもたないと思う。外国人研修生を受け入れている企業とも協力して、交流の場を設け、夜間中学の生徒を増やし、交流していくことで、外国人から国際感覚、多様性を学ぶこともできて、備前市のためにもなるのではと思う。</p>	<p>夜間学び直し事業は、現在、県の補助事業として実施しておりますが、日本語教室部門では毎年度十数名の受講生が登録しており、外国人の日本語教育や、多文化共生にも成果が出ていると考えております。</p> <p>今後は、補助事業終了後の日本語教室のあり方について、予算、講師手配、実施体制等を考慮しながら検討してまいります。</p>
21	<p>P.59 政策 3 【誰もがいつまでも安心して暮らせるまち（健康・福祉）】</p> <p>政策の現状と課題</p> <p>人については、少子高齢化に伴い、元気な高齢者も多くは家で寂しい日々を過ごしたり、誰にも気付かれず孤独死する人もいる現状。子供についても共稼ぎが当たり前になった今、親子の関係も希薄となり子どもたちの心の問題も深刻化しているように思われる。そこで高齢者と子供たちがいつでも気軽に、共に交流できる場所を考えてみてはいかがか。</p>	<p>これまで、高齢者、障がい者、児童といった世代や分野ごとに公的支援を行ってまいりましたが、社会構造の変化等に対応するため、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」といった枠組みを超えた取組を推進してまいります。</p>
22	<p>P.65 施策 3-2【子育て支援の充実】目標達成のための取組</p> <p>民間(NPO 法人含む)団体、公共に関わらず、子育て支援事業の事業者や施設を広報、アワードできる仕組みを計画されているか。</p> <p>特に親子が集える子育て親子交流の場は、孤独になりやすい子育て時の親にとって、とても助かる場所だと思う。更に市民への情報提供を願う。</p> <p>直接、子育てとは言えませんが、大変な思いをしながら不妊治療を継続されている方へも、手厚い助成をお願いしたいと思う。</p>	<p>子育て支援情報については、市のホームページや広報に掲載するなど周知啓発に努めています。市の委託で運営していただいているものもあり、表彰等については実施しておりません。</p> <p>市民へ情報が伝わるよう、周知方法等について更なる工夫に努めてまいります。</p> <p>不妊治療、不育治療については、県の助成に合わせて、市でも引き続き助成してまいります。</p>
23	<p>P.69 施策 3-3【生活困窮者等の自立支援】</p> <p>8050問題、ひきこもり支援センターなどはこの項目になるのか。備前市では窓口がない。包括的な支援が機能するように、家族支援や多様な支援が可能になる「ケース会議」を定期的に行う事などで、ネットワークを充実させ、関係者のスキルアップを願う。</p>	<p>庁内関係部署が連携しながら生活困窮者の情報を把握し、必要に応じてケース会議を開催しています。就労支援等の事業を活用しながら、生活保護に至る前の段階で生活の立て直しがで</p>

	意見等の要旨	市の考え方
		きるよう支援を行ってまいります。
24	<p>P.71 施策 3-4【障がいのある人への福祉の充実】</p> <p>P.75 施策 3-5【高齢者への福祉の充実】</p> <p>保健福祉部社会福祉課、介護福祉課、地域福祉連携課がでていますが、社会福祉協議会も連携して機能するよう進めていくべきと思う。</p> <p>民生委員や栄養委員、愛育委員などの活動もあり、NPO 他の任意団体の取組もあると思う。東備地域自立支援協議会は和気と広域に協力していつている協議会だが、そのネットワークを充実させて、取り組んで欲しいと思う。</p>	<p>社会福祉協議会や各種委員、団体との連携については、総合計画を実現させるための、福祉分野に特化した計画である「地域福祉計画」を、社会福祉協議会が各種団体と共に策定する「地域福祉活動計画」と一体的に策定し、実効性のあるものとして取り組んでいます。今後も各種団体と連携を深め、多角的な視点から課題解決を行ってまいります。</p>
25	<p>P.71 施策 3-4【障がいのある人への福祉の充実】 目標達成のための取組 障がい児、障がい者の相談支援や障がい福祉サービス提供体制の整備</p> <p>地域包括ケアシステムが機能するよう市民にわかるように提供体制を示してください。わかりやすいパンフレットなどが必要なのではないか。</p> <p>「基幹相談支援センター」が機能するよう願う。市民にも開かれたものにしてください。</p>	<p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて東備自立支援協議会とともに検討を行っております。具体的な体制が決まりましたら、市民の皆様に理解いただけるよう努めてまいります。</p> <p>基幹相談支援センターは皆様のご相談を受けていただく相談員のスキルアップや関係機関同士の連携強化などを目的としています。こういった地域の相談支援体制を市民に周知するためにパンフレットの作成やホームページでの紹介などに努めてまいります。</p>
26	<p>P.71 施策 3-4【障がいのある人への福祉の充実】 目標達成のための取組 就労支援体制の構築</p> <p>ハローワークとも連携してジョブコーチなどもしていく必要があるのではないのでしょうか。現状の体制だけでなく若者サポートステーションの取組とも連携した形で進めていくべきだと思います。当事者家族の声を聞く努力をしてください。</p>	<p>障がいのある人への就労支援体制については、ひとりひとり様々なニーズがありますので、それに合わせた様々な支援機関と連携を強めていきたいと思っております。</p> <p>また東備自立支援協議会と連携し、当事者家族の皆様のご意</p>

	意見等の要旨	市の考え方
		見もお伺いできるように取り組んでまいります。
27	<p>P.75 施策 3-5【高齢者への福祉の充実】 目標達成のための取組</p> <p>認知症高齢者に対する情報発信と支援策の強化</p> <p>認知症カフェも6か所に増えて、充実してきていると思うが、立ち上げ支援はしていただいたが、継続支援もお願いしたいと思う。地域に周知する広報活動や社協で行っている高齢者憩いの場との連携などもあればより充実するのではないか。</p>	<p>認知症の人や家族の居場所づくりとして活動を支援しています。引き続き、広報活動や専門職の派遣を通して、継続支援に力を入れてまいります。</p> <p>また、これまで以上に社会福祉協議会等関係団体と連携を深め、事業に取り組んでまいります。</p>
28	<p>P.75 施策 3-5【高齢者への福祉の充実】</p> <p>高齢者が地域で役割を持って活動していくためには、受け入れる地域側にも課題があるように思う。高齢者側からだけでなく、地域からも高齢者に働きかける仕組みも大切だと思う。その意味では、前述の 2-1 コミュニティの育成も合わせ、今後は横断的な施策が必要になってくることと思う。</p> <p>今の高齢者(特に 70 歳前半まで)は、お元気な方が多数おられる。福祉活動は使う方と使われる方の区別をする状況にないと思う。元気で時間に余裕のある方々が、地域内で介護保険との狭間に存在する「生活支援サービス」活動を始動・継続されることは、今後、各所で益々増加し、期待される活動だと認識している。このような福祉活動に、助成金や補助金で手当てし、またその取組を紹介・広報し、市全域に広げていくことも重要な施策ではないか。</p> <p>「フレイル」活動についてあまり記述されていないが、上記活動はその一役も担えるものと考えている。</p>	<p>地域共生社会の実現に向けては、「支え手」や「受け手」という考えでなく、共に支え合う地域づくりが必要となるため、高齢者も経験から培った知識や能力を活かし、人と人との交流を通じて社会とのつながりを持ち、地域の担い手として参画できるように、専門職による支援を行ってまいります。</p>
29	<p>P.89 施策 4-2【魅力ある農林水産業の推進】</p> <p>鳥獣被害対策は駆除という観点だけではないと考えている。ご承知のように鹿・イノシシは自分たちの食料が住む山中になく、里山に現れていることもある。山に好物のどんぐり等の木の実を育て、里にはオリーブや梅、パパイヤなどの嫌がる植物を植生させていくのも一つの方法ではないか。</p> <p>耕作放棄地の活用策として、上記のような植物を地元特産品として育成し、地域の財政の一助にしたり、観光資源にしたりすることを、地域の方々と考えていくことは、地域活性化にもつながるのではないか。</p>	<p>ご指摘のように、野生生物が生息する環境が大きく変化することが大きな要因であることは間違いないと思います。ただ、今から広域的に山の環境を変えるという事は困難です。鳥獣被害対策につきましては、駆除と防護の両面に対策をしていくことが得策であると考えます。</p> <p>耕作放棄地の活用策として、シカ・イノシシの嫌がる植物を栽培して、それらを地域活性化にも繋げていく提案につきまし</p>

	意見等の要旨	市の考え方
		では、効果を検証してみたいと思います。
30	<p>P.93 施策 4-3【魅力ある資源を生かした観光の推進】</p> <p>本計画に沿って、備前焼伝統産業会館の整備等ハード面の整備が進んでいる。しかし、備前市観光ボランティアガイドをしているものの目から見ると、お越しになった観光客の皆さん向けに、せっかくある伝産周辺の無料駐車場の使い方（どこに置いたら良いか等）などのソフト面の配慮がなく、リピーターとなる要素に欠けるように思われる。</p> <p>旧閑谷学校を含め、駐車場利用に関する案内表示（現地や PR 時の標記など）のみならず、目的外の駐車場利用の抑制など、優れた観光資源を観光客に気持ち的にも来やすい環境の整備が必要と思われる。</p> <p>なので、そのような面について計画に反映させ、進めていくことが、長い目で見て入り客の増加に結びつくものと思われる。</p>	旅行者が気持ちよく観光できるように、観光案内看板をはじめとした市内観光施設の環境整備、また、案内所での情報発信などソフト面の体制強化に努めてまいります。
31	<p>P.97 施策 4-5【移住・定住の促進】施策の方向性</p> <p>「なぜ備前市へ移住するのか?」という大前提の施策の方向性が、見えてこない。</p>	備前市の一番の魅力は、豊かな自然環境に恵まれ、温暖な気候と自然災害の少なさを兼ね備えた過ごしやすい環境だと考えております。東京など大都市圏からの移住希望者を中心に、この魅力を伝えるための情報発信や交流機会の設定などの取組に重点を置き、住み続けたいと思えるまちを目指します。
32	<p>P.97 施策 4-5【移住・定住の促進】目標達成のための取組</p> <p>移住希望者や移住者間の交流の場や機会の設定</p> <p>産業部都市住宅課だけでなく地域おこし協力隊の方達とも協力していくといいのではないかと。市民協働課との連携も考えてはと思う。</p>	地域おこし協力隊の方々にはこれまで PR 動画やパンフレット撮影の協力や情報発信など、先輩移住者として様々な場面でご協力をいただいております。今後も連携を図っていきたく考えています。
33	<p>P.97 施策 4-5【移住・定住の促進】目標達成のための取組</p> <p>移住希望者や移住者間の交流の場や機会の設定</p> <p>地域おこし協力隊の方との交流があるが、色々な苦勞もして地域で活躍されたり、他へ移って行かれる方もあった。移住者の方も含めて、地域との交流会や OB と情報交換する場を持つなどの取組も行って欲しいと思う。受け入れのあり方やその後のサポートなど、課題があると思う。これまでの先輩経験者をコーディネーターとして動いてもらうなど、工夫もして活躍してもらえよう働きかけしてもらいたいと思う。</p>	前記 No.32 をご参照ください。

	意見等の要旨	市の考え方
	和気で行われているような移住者交流会なども OB の方をお願いしながら協働の活動にしていってはどうか。	
34	<p>P.105 施策 5-1【防災・防犯体制の強化】</p> <p>地域にとって自助・共助の啓発が重要な課題だと思う。そこでハザードマップの更新と同時に、より地域に密着したものにするため、地域住民が自分たちの考える「わが街の防災マップ作り」が必要ではないか。そのためのハザードマップと連動したソフトの提供を希望する。</p> <p>自主防災組織活動のレベル向上も視野に入れ、地域内にひとりでも多くの「防災士」の育成が必要で、そのための助成制度の充実も重要な施策ではないか。</p>	<p>ハザードマップは冊子での配布とホームページからも入手できるように考えています。連動したソフトの導入は予定しておりませんが、現在、「備前市自主防災組織活動事業助成金」の中に「ハザードマップ作成支援事業」がありますので、こちらの補助制度をご活用していただければと思います。</p> <p>防災士の資格取得につきましても自主防災組織などに対して「備前市防災士育成事業補助金」の制度があります。今後も地域防災リーダーとして活躍していただけるよう広報をまいります。</p>
35	<p>P.105 施策 5-1【防災・防犯体制の強化】目標達成のための取組</p> <p>災害時要支援者の把握と支援体制の確立</p> <p>福祉計画とも連携させてほしい。</p>	個別避難計画の作成を進めるなど、福祉と防災の連携に努めてまいります。
36	<p>P.115 施策 5-5【道路・港湾の整備】目標達成のための取組</p> <p>港湾・漁港の整備による機能強化</p> <p>マックスバリュが高潮で浸水することが多く、撤退されると地域住民にとって大きな痛手になる。貯水池と排水設備を設けるなどの対策を将来的には考えて欲しいと思う。</p>	<p>現在、高潮対策として防潮堤の整備を岡山県が実施しており、市が内水対策も実施すれば相乗効果が期待できると認識しています。内水排除については、事前の対応と適切なポンプ場の稼働に努めてまいります。今後は、財政上の問題もあり早期整備は難しいものと思われませんが、実現に向けて検討してまいります。</p>
37	<p>P.121 施策 6-1【公共交通の確保】目標達成のための取組</p> <p>高齢者等交通弱者の外出支援</p> <p>東備こども NPO 支援センターで行っている支え合いの「リーフ事業」も支援に役立っている。市民活動との連携として加えてはどうか。</p> <p>タクシーチケットだけではとても不足しているという声を聞く。市民の自</p>	公共交通の利用が困難な地区・集落で生活している人の移動をささえるため、地域特性に応じた移手段の導入を検討してまいります。

	意見等の要旨	市の考え方
	助共助の部分ではあるが、そこへの支援も考慮する形で支援の充実を図っていくといいと思う。	
38	<p>P.127 施策 6-3【環境保全対策の推進】</p> <p>以前、地元地域内で太陽光発電施設が建設された時、工事は届け出制のため、いくら設置条例を制定しても、行政としても対策には限度があり、地元はほぼ手も足も出ない状態で、計画が進んだ。まして、備前市には景観条例もない。太陽光発電は再生可能エネルギービジョンの中で、重要な選択肢であることは間違いないと認識している。ただ、進め方を間違えば、全国で問題となっているように、地域の環境に対して大きな負荷となる恐れもある。SDGsの観点からも、備前市の環境保全対策推進の中に、是非、地元地域と一緒にあったエネルギービジョンを位置づける事を計画していただきたいと切に願う。</p>	ご意見のとおり自然環境、生活環境、景観問題といった複雑化、多様化する環境問題に対応し環境保全対策の具体的な取組を推進する必要性を認識しております。脱炭素社会の実現に向けて、今後策定する備前市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）で検討してまいります。
39	<p>その他【公共施設全般について】</p> <p>どこかのページにコロナ禍で、「新しい生活様式への転換」と書かれていたように思うが、そうであれば、公共施設及びそれに準じた施設に対しての新型コロナ感染症対策に対応した具体的な「施設使用等に関するガイドライン」を作成されてもいいのではないかと思います。</p>	岡山県内や近隣市町の新型コロナウイルス感染症の感染状況に注視しながら、国が示しております「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン一覧」を参考に状況に応じ柔軟な対応を行っております。
40	<p>その他【本計画全般について】</p> <p>平成29年の計画には「計画を実現する行政」の項目があり、行政としての実現意欲が感じられるものだった。行政運営のありかたについては専門家にしかわからないものなのかもしれないが、市民にその方向性を伝えられる意味もあったと思う。今回の追加は難しいのかもしれないが、今回は以前あった指標も追加して欲しい。</p> <p>計画立案にあたっての市民会議はあったが、途中実行がなされているか市民と共に確認し合うような情報交換の機会を設け、絵に描いた餅にならない実効性のある戦略にして欲しい。</p>	<p>第2次総合計画「計画を実現する行政」に該当する部分については、基本構想に記載の「行財政改革プラン」等に基づき、取り組んでまいります。いただいたご意見は、次期計画策定時のご参考とさせていただきます。</p> <p>計画実行にあたっては、市民が意見交換できる機会を設けることも検討してまいります。</p>
41	<p>その他【施策の優先順位】</p> <p>財源、要員の限られる中、何を優先に進めるか、そこは執行部が計画、議会が承認することになると思うが、市民の声はどう届けられるのか、この計画の中で、そこがよくわからない。</p>	<p>施策や事業の必要性、成果等については、市民公募を含めた行政評価市民委員会による検討、検証を行うこととしており、定期的に行う市民意識調査からもニーズの把握を行ってまいります。</p> <p>また、市民が意見交換できる機会を設けることも検討してま</p>

	意見等の要旨	市の考え方
		います。
42	<p>その他【本計画の市民への周知】</p> <p>本計画を推進するため、市民に周知をお願いしたい。ホームページに有ります、市役所の企画課に冊子があります、ではなくて、広く冊子を配布する等検討願いたい。学校、地区公民館、自治会等へ。</p> <p>第2次計画について、たまたま知る機会があり、「こんなすばらしい計画が有ったんだ、これを実行すればいいんだと」活用させてもらった。</p>	<p>本計画の公表については、市のホームページへ掲載するほか、印刷製本完了後、市内公共施設等へ配布・設置する予定としています。</p>